

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会							
① 事業	指標名	地域社協の育成に関する研修回数			目標値	市民社協職員 8回 地域社協 運営委員 3回	実績値	市民社協職員 9回 地域社協運営委員 4回	
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	118.2%	達成状況	達成	
	(単位: 回)	職員 6・地域 4	職員 8・地域 4	職員 9・地域 4					
	取組内容	<p>※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>1. 職員 (1) 東京都社会福祉協議会主催 ①「区市町村社会福祉協議会新任職員研修」(1名)、②区市町村社協「地域福祉コーディネーター養成研修」<基礎編>(1名)、③「地域福祉計画・地域福祉活動計画に関する情報交換会」(1名)、④「地域公益活動推進のための地域ネットワーク化に関する区市町村社協情報交換会」(1名)、⑤「地域づくりを進めるコーディネーター連絡会」(1名)、⑥「人をつなぎ、集まる場を運営するための手法」(1名)、(2) 東京ボランティア・市民活動センター主催 ①「災害ボランティアコーディネーター養成講座運営者コース」(2名)、(3) 北多摩北部ブロック社協共催 ①「大規模災害発生! あなたは避難所でどのように行動しますか?」(1名)、②「あるある! 災害ボランティアセンターの話」(5名)への参加 2. 地域社協運営委員 (1) 地域社協活動歴が浅い人向けの説明会(2回開催)、(2)「地域社協はじめて講座」、(3)「地域社協での活動者を増やすための交流会」、(4) 地域福祉ファシリテーター養成講座</p>							
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>・新規採用職員に対し、小地域福祉活動の重要性を認識してもらうために、新任研修及び地域福祉コーディネーター養成研修に参加させ、社協事業の基礎的な知識や技術を身に付けることができた。 ・職員の知識及び技術の向上が地域活動の向上にもつながるため、地域福祉活動の推進につながる上記記載内容の外部研修に複数の職員を参加させ、職員の意識や知識、支援技術の向上につなげることができた。</p>							
二次評価	<p>市民社協職員、地域社協運営委員ともに目標の研修回数を上回ったことを評価する。引き続き、地域福祉活動の推進につながるための研修への参加を促し、市民社協職員及び地域社協運営委員の育成に努めていただきたい。</p>								
② 財務	指標名	会費収入			目標値	4,650,000円		実績値	3,235,000円
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	69.6%	達成状況	未達成	
	(単位: 千円)	3,551	3,423	3,357					
	取組内容	<p>※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>1. 会員増加に向け次の取組みを行った。①七夕のつどい ②地域社協のサロンや運営委員会、手話講習会等の各種事業・VCMが行う講座などで入会呼びかけ ③「市民社協だより」やホームページへの会員募集記事の掲載 2. むさしのFMIにおける時報CM放送(午後1時)によるPR 3. LINEスタンプ販売の実施、Facebookによる社協事業等の発信(記事投稿157件)など、若年層やSNS利用者へのPR展開 4. 市民社協発展強化計画策定に伴い、職員ワーキングチームを組織し、「独自財源ワーキング」の中で「会員の新規拡大と会員メリット」、「会費の払いやすさ」等について検討を行った。</p>							
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>・地域社協のサロン活動において、当該事業に市民社協会費を充当している旨を説明する機会をいただき、市民社協や財源の説明を行い、数名の新規入会者を得ることができた。 ・幅広い世代に対し、市民社協の認知度を上げるためFacebookへの投稿数を増やすことに意識して取り組んだ。 ・市民社協の認知度の向上を目的に30秒の市民社協紹介動画を作成し、Facebookに投稿した。この動画をより多くの方々に見ただけのよう、吉祥寺のCafe&Bar dizzleの店内モニターで上映していただくことができた。</p>							
二次評価	<p>各種事業や講座等における入会呼びかけやFacebookを活用したPR展開などの例年の取組みに加え、職員ワーキングチームを組織し、会費収入の増加に向けた会員拡大等について検討を進めていることを評価する。会員及び会費収入の減少の課題が継続される中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会員拡大に向けた取組みはさらに困難な状況となることが想定されるため、職員ワーキングチームを中心に、Twitterを含めたSNSの活用によるPR展開など、様々な工夫について検討し、取り組んでいただきたい。</p>								
③ 内部	指標名	職員勤務評価制度			目標値	制度の充実		実績値	面接シートの活用による目的達成への取組み
	過去の実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率	100.0%	達成状況	達成	
	(単位:)	制度の充実	面接シートの導入	面接シートによる評価					
	取組内容	<p>※R元年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>・嘱託職員、主事、主任、係長に区分された人事評価シートにより、各区分ごとに求められる能力評価を5段階で評価した。 ・年度の期首には、職員各自に「年度内の目標」を記載する「面接シート」の作成・提出をさせた。その内容を基に職員との業務への取り組み方等に関しての意見交換、指導等を実施し、目標達成に向け1年間取り組むよう促した。期末にはその目標の達成度などの振り返りを実施した。</p>							
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>・職員各自の「職員の業務量及び業務に関する意見・希望調査書」に基づき、正規・嘱託の全職員に対し、面接を実施した。面接にあたっては、健康状態の把握と事業見直し、翌年度の業務分担等に反映できるよう課題や改善点、業務負担等を確認した。 ・「面接シート」の導入から数年が経ち、職員の中でも1年間の業務目標へ意識して取り組む姿勢が見られ、業務に対する目的意識の向上につながっている。</p>							
二次評価	<p>面接シートの活用により、職員の業務への取組み姿勢や目的意識の向上を図っていることを評価する。引き続き、各職員の状況を把握したうえで適切な評価ができるよう制度を活用するとともに、組織の活性化を図っていただきたい。</p>								